

散歩に関する絵本の一考察

Study of Picture books related to A Walk

齋藤 めぐみ

Megumi SAITO

“さんぽ” “おさんぽ” をキーワードに絵本を選出し内容を分析した。その結果、社会、主に地域社会との関わり、交通ルールを知る、自然との触れあい、気分転換、が主たるテーマとみられる絵本が多かった。散歩は、身体活動量を楽しく増強できる活動であるが、そのことが描かれている絵本は存在しなかった。ストーリーの展開としては、何か、または誰かとの出会い、探検、一緒に歩く（同行）を描いているものが多かった。

キーワード：生活絵本 散歩 読み聞かせ 保育

I. 緒言

保育の中で、ほとんど毎日絵本の読み聞かせは行われている。保育者は絵本の選書を慎重に行う必要がある。

杉山（2021）は、保育所保育指針、幼稚園教育要領の中で絵本がどのように位置づけられているかを明らかにし、以下のようなことが保育の中で期待されていると示した。

- ① 楽しい雰囲気での応答的なかわりを生み出す
- ② ものを介して身近な人と心を通い合わせる経験を作り出す“モノ”となることができる
- ③ 子どもが自分に対する愛情を感じることができる
- ④ 友達と同じ絵本を読むことで子ども同士の心を通わせることができる
- ⑤ 新たな言葉との出会い、言葉の美しさ、楽しさに気付かせることができる

- ⑥ 子どものイメージする力、想像する力を育む

- ⑦ 身の回りのものに対する興味や関心を育む

保育者は、絵本にはこのような力をもつことを理解し、子どもの興味に合わせた絵本を選書できるようにすることが望まれる。

絵本には、物語絵本の他にも科学絵本、生活絵本などがある。絵本の分類について、浜崎（2022）は以下のように示した。

- ① ものの絵本
- ② 生活・あそびの絵本（連続性はみられるが、物語ではない。）
- ③ 物語の絵本
- ④ 色、形、大きい・小さい、多い・少ない、数等、抽象概念を表す絵本

齋藤（2020・2021）は、子どもたちの生活に関連することをテーマに絵本の内容分析を行っている。誕生日に関連する絵本、病気の予防に関連する絵本などである。絵本の研究は、物語

絵本の内容や絵に焦点をあてた研究が多く、子どもたちの生活に即したテーマに焦点をあてた研究は、いくつかあるが（例えば山室（2021）の「言葉の響き」の視点からみた研究、北野（2012）の科学絵本の利用と活用についての研究）少ない。

保育の中で頻繁に行われる活動である散歩は、コロナ禍であっても保育施設、家庭を問わず行いやすい身体活動でもあり（齋藤、2022）多くの意義や効果が期待されることが確認された（齋藤、2022）。以下に示す。

- ①社会、主に地域社会との関わり
- ②交通ルールを知る
- ③自然との触れあい
- ④集団行動による人間関係の構築
- ⑤体力作り
- ⑥気分転換
- ⑦散歩における気づきから思考力を培う
- ⑧コミュニケーションの広がり
- ⑨避難訓練となる
- ⑩睡眠の質の改善

また、幼稚園児を対象とした散歩活動の介入研究から、

- ⑪散歩は、子どもたちが楽しみながら身体活動量を獲得する活動である

保育の中で活動を行う場合、活動の導入として活動の前に、また活動の振り返りとして、活動に関連する絵本を読むことも多い。そのため、散歩をテーマとした絵本の内容を吟味することは、そのための一助となり得る。

齋藤（2022）は、散歩の促進に有用な「さんぽブック」の開発にあたり、同じような絵本が既に発刊されていないかどうかを知るために散歩関連絵本を調査した。調査対象絵本は176冊であり、散歩は、子どもにとって親しみのある活動であることが示唆された。散歩の絵本には、出会いや探検等共通したテーマをもつ絵本が多いことが示されたが、内容の詳細は明らかにされていない。

そこで、本研究は乳幼児の生活に関連の深い

散歩関連絵本を対象として、内容を分析し、乳幼児に読み語りたい絵本を検討することを目的とする。

Ⅱ. 方法

1. 分析対象の選出方法

千葉敬愛短期大学メディアセンター蔵書検索、および絵本、児童書を紹介する日本で最大のウェブサイト「絵本ナビ」にて“さんぽ”“おさんぽ”をキーワードとして絵本を検索した。絵本ナビに記されている絵本の概要を参考にして大人向けの絵本等、乳幼児に読み聞かせる絵本でないと考えられた絵本を除外した。また、紙芝居も除外し、絵本だけを分析対象とした。その中から千葉敬愛短期大学のメディアセンターに所蔵の絵本、および2022年11月までに入手できた絵本を本研究の分析対象とした。

2. 分析方法

有馬（2021）の内容分析法を参考として絵本のテキスト部分から共通の内容と言葉を抽出してキーワードを決定し、絵本別にその有無、描かれ方を調査した。加えて、登場人物の特徴、終わり方を調査した。散歩の意義や効果との関連については、前述の齋藤（2022）を参考にし①～⑪、絵本の分類については、浜崎（2020）を参考にした。また、絵本の内容から保育の中で読み語りをする絵本として適当かどうか、絵と文章がわかりやすいかを判断基準として絵本としての評価も行った。

Ⅲ. 結果と考察

対象とした絵本を表1、詳細を表2に示した。抽出した絵本から、紙芝居、幼児向けでない絵本を削除し、176冊から154冊を選んで分析対象とした。しかしながら、絶版になっていたり入手困難であった絵本が多く、本研究における対象絵本は72冊とした。このうち、8冊は乳児

対象の絵本であった。

1. 対象絵本のプロフィール

(1) 出版年

1975年代から2021年までに出版された絵本が対象であった。松岡（2017）が、物語絵本において、出版から20年以上経過していることを良書の条件としていることを参考として、20年以上経過している絵本を選出したところ、72冊中21冊であった。比較的近年に発行された絵本が多かった。

(2) 絵本の分類

生活絵本が21冊、物語絵本が51冊であった。物語絵本と生活絵本との差異が明確でない絵本も存在したが、主人公がいて連続性があり、感情が読み取れる絵本は物語絵本とした。生活絵本と分類された絵本は、次々と何かに会うという連続性があるが、主人公の感情が読み取れないものとした。

(3) 絵本に期待されていることの有無

散歩自体が身近な経験であることから、散歩の絵本は、“身の回りのものに対する興味や関心を育む”ことが期待される、と考えられる。

2. 内容

(1) 散歩の意義との関連

ほとんどの絵本が、社会、主に地域社会との関わり（①）に関連する、または自然とのふれあい（③）を描く絵本であった。社会、主に地域社会との関わりに関連するが37冊、自然とのふれあいは、17冊、集団生活による人間関係の構築（④）は7冊、気分転換（⑥）が8冊であった。散歩の意義や効果に関連した内容が絵本の中で描かれていることがわかった。

その中で、散歩に行き街中を知る、誰かと会おうという話の展開が特に多かった。街中全体が保育の場と三輪ら（2017）が紹介する「まち保育」が描かれていることがわかる。物語絵本に分類された中にも多かったが、社会、地域社会との関わりで誰かに会おうという内容の絵

本は、単純に、誰かと次々に会おうというものが多かった。

また、散歩での自然との触れ合いは大きな意義であり、春の散歩で花や蝶と会おう、秋の散歩では秋の虫や落ち葉に出会おうなどが描かれていたものが多かった。えがしらみちこの描く「はるかぜさんぽ」「あめふりさんぽ」「さんさんさんぽ」「あきぞらさんぽ」「ゆきみちさんぽ」は、女の子が季節ごとに散歩に行き、いろんな自然に出会うものである。どの季節の描かれ方も、それぞれの季節や自然現象の良いところが出されていて、あめふりでもゆきでも散歩に行くのは楽しいということがわかる内容である。絵もやわらかいタッチで温かい雰囲気、絵からも散歩は楽しい、ということが伝わる。

本来の散歩の意義は気分転換なのであろうが、気分転換と分類された絵本は、あまり多くなかった。乳幼児を対象とした絵本では、気分転換よりも社会に触れる、自然に出会うが多いのだと考えられる。分類にあたっては、散歩に行き思い切り遊んで、楽しいひと時を過ごした内容のものとした。ただし、坂元純作の「よるのおさんぽ」は、少し特殊な内容である。ママに会いたいとき、ケンちゃんはパパと夜の散歩に出る、という内容である。文章では描かれていないが、ママは亡くなったことが何え、悲しくなった時にパパとケンちゃんが夜に散歩に出るという話である。散歩で悲しいという気持ちを転換させる、という意味での気分転換の分類にした。本来の保育の中で行う散歩とは意味が異なり、散歩の前後に読み聞かせをする対象の絵本ではないが、内容が心に残る印象深い絵本である。散歩における気づきから思考力を養う（⑦）、という絵本に分類されたものは少なかった。気づきまではするが、思考力につながっているかどうかまでは読み取れなかったからである。その中で「ホイホイとフムフムたいへんさんぽ」をこれに分類した。この絵本は、物語絵本である。散歩といったものをしたことのないフムフムを散歩に誘うホイホイの話である。

表 1 対象の絵本

NO	タイトル	発行年	作者・出版社
1	あかちゃんのおさんぽ (1)	2003	作・絵：いとう ひろし：徳間書店
2	あかちゃんのおさんぽ (2)	2003	作・絵：いとう ひろし：徳間書店
3	あきいろさんぽ	2018	作・絵：村上 康成：ひかりのくに
4	あきぞらさんぽ	2002	作：えがしら みちこ：講談社
5	あそんでゆこう	2014	作・絵：五味 太郎：ポプラ社
6	あめのさんぽ	1996	作：竹下 文子 絵：鈴木 まもる：リプロポート
7	あめの日のおさんぽ	1986	作：U・シェブラー 絵：U・ウェンゼル 訳：若林 ひとみ：文化出版局
8	あめふりさんぽ	2014	作：えがしら みちこ：講談社
9	ありさんぽつぼつ	2006	作・絵：たんじあきこ：主婦の友社
10	アリのさんぽ	2005	作・絵：こしだ ミカ：架空社
11	あるいてゆこう	2014	作・絵：五味 太郎：ポプラ社
12	いこかいこ	2014	文：中川 ひろたか 絵：ささめや ゆき：あかね書房
13	いちにさんぽ	2007	作：たかしまきこ 絵：のび：文芸社
14	おさんぽ	2020	作：前田 まゆみ：主婦の友社
15	おさんぽ くろくま	2008	作・絵：たかい よしかず：くもん出版
16	おさんぽおさんぽ	2008	作・絵：広野 多珂子：福音館書店
17	おさんぽのおやくそくだもの	2021	作：きだに やすのり 絵：わたなべ あや：あかね書房
18	おさんぽわくわく	2014	作：服部 あさ美：WAVE出版
19	おとうさんとおさんぽ	2004	作：あかぎ かんこ 絵：あいのや ゆき：主婦の友社
20	おとうさんとさんぽ	1989	作・絵：にしかわ おさむ：教育画劇
21	おなかのすくさんぽ	1992	作・絵：片山 健：福音館書店
22	お月さまのさんぽ	1999	作・絵：ブライアン・ワイルドスミス 訳：わたなべ ひさよ：らくだ出版
23	おぼろ月のおさんぽ「銀色」	2017	詩：ウォルター・デ・ラ・メア 絵：カロリーナ・ラバイ 訳：海後 礼子：岩崎書店
24	かえるくんのおさんぽ	2018	作：きもと ももこ：福音館書店
25	かごのって	2015	作：とよた かずひこ：アリス館
26	かめくんのさんぽ	2019	作・絵：なかの ひろたか：福音館書店
27	かめさんのさんぽ	1978	作・絵：中谷 千代子：福音館書店
28	きょうりゅうくんとさんぽ	1980	作・絵：シド・ホフ 訳：乾 侑美子：ペンギン社
29	こいのぼりくんのさんぽ	2018	文：すとう あさえ 絵：たかお ゆうこ：ほるぷ出版
30	こぞうのスズ そらのさんぽ	2014	作：垣内 磯子 絵：accototo ふくだとしお+あきこ：教育画劇
31	ころころオレンジのおさんぽ	2009	作・絵：nakaban (ナカバン)：イースト・プレス
32	コロちゃんのおさんぽ	1983	作・絵：エリック・ヒル 訳：まつかわ まゆみ：評論社
33	さんさんさんぽ	2015	作：えがしら みちこ：講談社
34	さんぽ だいすき	2016	文：岸田 鈴子 絵：長 新太：ひかりのくに
35	さんぽ だいすき	1992	作：岸田 鈴子 絵：長 新太：ひかりのくに
36	さんぽのしるし	1989	作・絵：五味 太郎：福音館書店
37	しりとりさんぽ	2013	作：石津 ちひろ 絵：壁谷 美扶：小学館
38	しろしろのさんぽ	1975	作・絵：中新井 純子：BL 出版
39	しんごうびよびよびーい	2020	作：視覚デザイン研究所 絵：くにすえたくし：視覚デザイン研究所
40	ぞうくんのあめふりさんぽ	2006	作・絵：なかの ひろたか：福音館書店
41	ぞうくんのおおかせさんぽ	2010	作・絵：なかの ひろたか：福音館書店
42	ぞうくんのさんぽ	1977	作・絵：なかの ひろたか：福音館書店
43	だんだん だんだん	2021	作：たけがみ たえ：ひさかたチャイルド
44	つきよのさんぽ	2006	作：安江 リエ 絵：池谷陽子：福音館書店
45	ニャーロットのおさんぽ	2014	作・絵：パメラ・アレन 訳：野口絵美：徳間書店
46	ノエルのおさんぽ	2001	作：るりこ・デュアー 絵：たかはし みちこ：KADOKAWA
47	バオちゃんのたのしいおさんぽ	2000	作・絵：なかがわ みちこ：PHP 研究所
48	ばなせんせいとおさんぽ	2014	文：得田 之久 絵：やました こうへい：童心社
49	はらっぱららら	2017	作：鈴木 智子：アリス館
50	はるかぜさんぽ	2017	作：えがしら みちこ：講談社
51	はるかちゃんとかなたくんのしりとりさんぽ	2012	作：石津 ちひろ 絵：田代知子：くもん出版
52	バルボンさんのおさんぽ	2000	作・絵：とよた かずひこ：アリス館
53	パンちゃんのおさんぽ	1997	作・絵：どい かや：BL 出版
54	ぶうちゃんのおさんぽ	2016	絵：斉藤 みお 文：津田 真一 アニメーション：清水 修：小学館
55	へびくんのおさんぽ	2006	作・絵：いとう ひろし：鈴木出版
56	ホイホイとフムフム たいへんさんぽ	2018	文：M・W・シャーマット 絵：バーバラ・クニー 訳：福本 友美子：ほるぷ出版
57	ポッポーきかんしゃ よるさんぽ	2021	作：とよた かずひこ：アリス館
58	マウス一家のふしぎなさんぽ	2005	作：カーラ・カスキン 訳：星川 菜津代：童話館出版
59	まほうのさんぽみち	2019	著：ロビン・ショー 訳：せな あいこ：評論社
60	みえないさんぽ—この あしあと だれの？—	2002	作・絵：ゲルダ・ミュラー：評論社
61	もしやもしやマクレリーおさんぽにゆく	2004	作・絵：リンリー・ドッド 訳：たまの まさと：あづき
62	ももんちゃん のっしのっし	2002	作：とよた かずひこ：童心社
63	もりのくうちゅうさんぽ	2007	作・絵：松岡たつひで：福音館書店
64	ゆうたとさんぽする	2008	作・絵：きたやまようこ：あかね書房
65	ゆかいなさんぽ	1998	作・絵：土方 久功：福音館書店
66	ゆきみちさんぽ	2016	作：えがしら みちこ：講談社
67	よるの おさんぽ	2004	文：坂元純 絵：金斗鉉
68	よるの おさんぽ	2016	文：リリー・ロスコウ 絵：デイヴィッド・ウォーカー 訳：福本 友美子：岩崎書店
69	りすりんのおさんぽ どうぶつ	2017	作：たかい よしかず 出版社：交通新聞社
70	りすりんのおさんぽ りもの	2017	作：たかい よしかず 出版社：交通新聞社
71	ロージーのおさんぽ	1975	作：バット・ハッチンス 訳：渡辺 茂男：偕成社
72	新装版 はなちゃんおさんぽ	2015	文：中川 ひろたか 絵：長 新太：主婦の友社

表 2 絵本の詳細

NO	種類	意義	対象	主人公								最後 帰宅	評価	保育	展開		
				主人公	人	動物	植物	他	男	女	不明				キーワード	キーワード	相手／場所
1	②	①	乳	赤ちゃん	○					○		×	△	△	探検	出会い	生物
2	②	③	乳	赤ちゃん	○					○		×	△	△	探検	出会い	生物
3	②	③		女の子	○						○	○	◎	◎	秋散歩	出会い	自然
4	②	③		女の子	○						○	×	◎	◎	秋散歩	出会い	自然
5	②	①		指人形					○	○		×	◎	◎	出会い		社会
6	③	①		男の子とお父さん	○							×	◎	◎	雨散歩	発見	
7	③	①③		おばあちゃんと男の子	○					○		○	◎	◎	雨散歩	探検	街
8	②	③		女の子	○					○		○	◎	◎	雨散歩	出会い	自然
9	②	①	乳	赤ちゃんとあり						○		○	◎	◎	探検	乳児	
10	②	③		アリ		○					○	○	△	△	出会い		生き物
11	②	①		指人形					○	○	○	×	○	○	出会い		自然物
12	②	①		男の子とおじいさん	○					○		○	○	○	出会い		バス・からす
13	③	①		カンガルー		○					○	×	△	△	同行		サーカス
14	②	①	乳	乳児	○						○	○	◎	◎	出会い		自然動物
15	③	①	低	くま		○				○		○	◎	◎	出会い		動物植物
16	②	③		男の子	○					○		×	◎	◎	雨散歩	探検	自然
17	②	②		くだものたち集団					果物		○	×	△	△	交通ルール		
18	③	③		男の子	○					○		×	△	△	出会い	探検	花、動物
19	③	③	乳	男の子とパパ	○					○		○	◎	◎	出会い		動物
20	③	⑥		男の子とお父さん	○							×	◎	◎	探検		
21	③	⑥		男の子	○					○		○	○	△	探検		
22	②	①		月と太陽	○				月		○	×	△	△	夜散歩	散策	物
23	③	⑥		月					月			×	○	△	夜散歩		森の中のこと
24	③	①④		かえる		○				○		×	◎	◎	出会い	探検	森の生物
25	③	③		女の子と動物	○					○		○	○	△	乗り物散歩	出会い・同行	動物
26	③	④		亀		○				○		×	○	○	同行		動物
27	③	①		亀		○					○	○	○	○	探検		動物
28	③	①		男の子ダニーと恐竜	○					○		○	○	○	探検	出会い	街
29	③	①		鯉のぼり					○			△	○	△	空散歩	同行	動物
30	③	①		ぞう		○					○	×	○	○	空散歩	探検	
31	③	①		オレンジ					果物		○	○	○	△	探検		人間、動物
32	②	①	乳	いぬ		○					○	○	○	○	探検		動物
33	②	③		女の子	○					○		×	◎	◎	夏散歩	出会い	自然
34	③	①	乳	乳児こぶた		○					○	×	○	○	出会い		社会
35	③	①		こぶたとおかあさん		○				○		×	○	○	探検		
36	③	①		うさぎ		○					○	×	◎	◎	探検		標識
37	③	①		男女児	○					○		×	○	△	遊び	しりと	
38	③	⑥		へび		○					○	△	△	△	探検	らくがき	街
39	②	②		動物の子どもたち集団	○						○	×	△	○	交通ルール		
40	③	④		象		○				○		×	○	○	雨散歩	同行	動物
41	③	④		動物		○				○		×	○	○	風散歩	同行	
42	③	④		象		○				○		×	○	○	出会い	同行	動物
43	③	③		男の子よっちゃんとおじいさん	○							○	○	△	夜散歩	出会い	自然
44	③	①		お父さんとぼく	○					○		○	◎	◎	夜散歩	出会い	動物、虫
45	③	①		猫		○					○	○	○	○	出会い		人や動物
46	③	⑦		男の子	○					○		×	◎	◎	障害・気づき		
47	③	③		ぞうのパオ		○				○		×	△	△	秋散歩	遊び	自然
48	③	①		つちのこ		○			果物		○	○	◎	◎	集団散歩		
49	③	③		女の子	○					○		×	◎	◎	出会い	野原散歩	自然・遊び
50	②	③		女の子	○					○		○	◎	◎	春散歩	出会い	自然
51	③	①	小	男女	○					○	○	×	○	△	遊び	しりと	
52	③	⑥		ワニのバルボン		○					○	×	○	○	雨散歩		
53	③	①		パンダ		○					○	○	◎	◎	探検	出会い	動物
54	③	①		こぶた		○				○		×	△	△	出会い		自然
55	③	①		へび		○				○		×	○	○	問題解決	出会い	動物
56	③	⑦		ねずみ		○				○		○	◎	△	初めての散歩		
57	③	①		機関車					○			○	○	△	夜散歩		
58	③	①		ねずみとお母さん		○					○	○	◎	△	買い物		誕生日
59	③	①		女の子とパパ	○							○	◎	△	出会い	探検	動物、街
60	③	①		男の子	○					○		○	◎	◎	雪散歩	探検	足跡
61	③	④		犬		○					○	○	○	○	出会い	同行	種類の違う犬
62	②	①		赤ちゃん	○						○	×	△	△	探索	出会い	動物
63	③	③		かえる、虫		○					○	△	◎	◎	空散歩	冒険 同行	動物、虫
64	②	⑧		人間と犬	○					○		×	○	△	犬の散歩		
65	③	④		こぶた		○					○	×	○	○	出会い	同行	動物
66	③	③		女の子	○					○		○	◎	◎	雪散歩	出会い	自然
67	③	⑥		男の子と父	○					○		○	◎	△	夜散歩	寂しさ	
68	③	⑥		子どもたち	○					○	○	○	○	△	夜散歩		
69	②	①		りす		○						×	△	△	出会い		動物
70	②	①	乳	りす		○						×	△	△	出会い		乗り物
71	③	⑥		めんどり		○						○	○	○	出来事		キツネ
72	③	①		女の子はなちゃん	○						○	○	○	○	出会い	冒険	動物

初めは嫌がるフムフムであったが、散歩しながら新しい経験をして、散歩っていいなあという話である。散歩っていいなあ、ということを読者からは読み取れる絵本はあるが、言葉で表現されている絵本は、ほとんどない。言葉で直接的には伝わらないが、障害をもったノエルが散歩に行つての気づきが描かれている「ノエルのおさんぽ」もこの分類とした。絵本で現わしているのはノエル自身の気づきであるが、読み語りで読まれた子どもたちも何か気づきをもつことは間違いない。ただし、この絵本は入手困難な絵本であるので紹介しても実際に手に取るのは難しい可能性が高い。

散歩は、身体活動量を楽しく増強させるということも期待できる活動であるが、この意義が描かれた絵本は存在しなかった。

(2) 話の展開

出会い、探検、同行、季節の散歩、特殊な天候時の散歩、夜散歩、空など場所が特殊な散歩、交通ルールについて描いた散歩、が主なテーマとして描かれていた。

出会い：今回選出した絵本の半数は、出会いが描かれていた。出会う対象は、散歩をする主人公が人間であっても、動物との出会いが多く36冊中20冊は動物との出会いが描かれていた。人間が動物に出会ったものは6冊であった。そのうち、子どもだけが動物と出会うのは2冊、4冊は、父親、祖父、母親と一緒にの散歩での出会いである。14冊は主人公が動物で、友達や知り合いの動物に出会うというものであった。人間が人間に出会うという内容は、ほとんどなかった。「はらっぱらら」は、黄色いワンピースの女の子が野原に散歩に行き野原で出会うもので遊ぶ。楽しそうに遊ぶ女の子の姿に思わず野原に行ってみたいという気持ちになる。また「おとうさんとおさんぽ」は、パパが赤ちゃんとおさんぽに出かけ、自然に触れるほのぼのとしたストーリーである。子どもだけでなく、お父さんたちにぜひ読んでほしい絵本である。

探検：冒険までも含めた探検は22冊に描かれて

いた。出会いもある中で探検と分類したのは、子どもが一人で色々見てみたい、という気持ちが伺える内容の物を探検とした。「おなかのすくさんぽ」は、男の子が一人で散歩に出かけ動物たちと出会い、最後は水浴びまでする。子どもたちが制限なしでやってみたいと思うことを散歩しながら実現している様子が伺える。

同行：主人公が散歩に出かけると誰かに出会って一緒に散歩をするというものを同行とした。「ゾウくんのさんぽ」シリーズは全て友達と一緒に散歩するものである。主人公が入れ替わるシリーズものである。人気があるのは、子どもたちは、みんなが次々に上に乗って散歩する姿がおもしろいのではないかと考えられる。1人で行く探検散歩も子どもたちの憧れではあると思うが、幼稚園や保育所ではみんなで散歩に行くので共感を得られやすいと考えられる。

季節の散歩：季節の散歩では、秋が多いが、特殊な天候を含めると雨散歩、雪散歩も描かれている。秋の散歩は、落ち葉やどんぐりなど触れ合う自然が多い。雨や雪の中に散歩に行くのは子どもたちの憧れなのではないだろうか。雨の散歩は晴れの日とは違う景色が見えるし、生き物との出会いもある。雨靴だけで描かれる「おさんぽおさんぽ」は、雨の中でカエルやかたつむりなどの出会いと水たまりで遊ぶ様子が描かれ、子どもたちの「やりたい！」が実現されて共感を得られる、と考えられる。「みえないさんぽ—このあしあとだれの?—」は、雪の日の朝の足跡が描かれ、男の子がベッドを抜け出して雪の中を歩いたことが伺える。文章がなく、その絵だけを見て子どもたちが誰の足跡なのか、何をしたのかを想像するのが楽しい絵本である。
夜の散歩：夜の散歩も、子どもたちが、やってみたいことだと考えられる。「よるのおさんぽ」、前述した「よるのさんぽ」と題名が似ていても内容が全く異なるものもあるので選書には注意が必要である。「よるのさんぽ」は、子どもたちが夜起き出して、街を探索するものである。子どもたちがともだちと夜の街を自由に歩き回り、

朝にはベッドに戻る。大いに夜散歩を楽しむ子どもたちの様子が伺われ、本当に夜散歩に出かけたくなる。

散歩の前後の読み語りにお勧めの絵本：著者独断での選書であるが、絵本としても散歩の導入や振り返りとしても子どもたちにぜひ読みたいと考えられる絵本は以下であった。

様々な季節を感じて行かう散歩として共感できると考えられるのは、「あきいろさんぽ」（作・絵：村上 康成 ひかりのくに）、「あめの日のおさんぽ」（作：U・シェフラー 絵：U・ウェンゼル 訳：若林 ひとみ 文化出版局）、「はるかぜさんぽ」、「あめふりさんぽ」、「さんさんさんぽ」、「あきぞらさんぽ」、「ゆきみちさんぽ」（作：えがしら みちこ 講談社）、「あめのさんぽ」（作：竹下文子 絵：鈴木 まもる リブレポート）、散歩の楽しさを共有できるのは、「おさんぽ」（作：前田 まゆみ 主婦の友社）、「あそんでゆこう」（作・絵：五味 太郎 ポプラ社）、「おさんぽくろくま」（作・絵：たかい よしかず くもん出版）、「おさんぽおさんぽ」（作・絵：広野 多珂子 福音館書店）、「パンちゃんのおさんぽ」（作・絵：どいかや BL 出版）、「さんぽのしるし」（作・絵：五味 太郎 福音館書店）、「かえるくんのおさんぽ」（作：きもと ももこ 福音館書店）、「はらっぱららら」（作：鈴木 智子 アリス館）、家での散歩時に読みたい「おとうさんとさんぽ」（作・絵：にしかわ おさむ 教育画劇）、「おとうさんとおさんぽ」（作：あかぎ かんこ 絵：あいのや ゆき 主婦の友社）である。最後の「おとうさんとさんぽ」「おとうさんとおさんぽ」は題名が非常によく似て間違いやすいが、「さんぽ」の方は、男の子とお父さん、「おさんぽ」の方は女の子とお父さんとの散歩が描かれている。ちなみに、家族での散歩が描かれている絵本は、お母さんとよりお父さんとの散歩の方が多い。

読み物としてお勧めの絵本：「ノエルのおさんぽ」（作：るりこ・デュアー 絵：たかはし みちこ KADOKAWA）、「みえないさんぽ—このあしあと だれの？—」（作・絵：ゲルダ・ミュー

ラー 評論社）、「もりのくうちゅうさんぽ」（作・絵：松岡たつひで 福音館書店）である。これらは、直接、保育の散歩活動とは結びつかないが、読み物としておもしろい、または子どもたちに知ってほしい絵本である。「もりのくうちゅうさんぽ」は、カエルたちが紙飛行機で空中を散歩する話で、色々な生き物の生体もわかるしワクワクして楽しい話である。

(3) 登場人物

登場人物は、人間、動物、その他果物や月などであった。人間と動物では、33冊対31冊で、動物の方が多かった。そのうち雄または男児は雌または女児より多く、34冊対15冊と男性が女性より倍以上多かった。また、親子での散歩は、お父さんが多く、お母さんとの散歩は2冊、お父さんとの散歩は6冊であった。お父さんと散歩に行くのは特別なこと、として描かれるのかもしれない。

(4) 終わり方

散歩に出かけたら、帰ってくるが散歩の展開であるが、帰宅するところまでを描いていたのは、32冊であった。途中で遊んでいるところで終わるというものも多くあった。

Ⅳ. まとめ

本研究は乳幼児の生活に関連の深い散歩関連絵本を対象として内容を分析し、乳幼児に読み語りたい絵本を検討することが目的であった。散歩に関連する絵本は、154冊が抽出されたが、絶版になっていたり入手が困難である絵本が多く、本研究では72冊の分析にとどまった。散歩の絵本は、絵本に期待されること（杉山、2021）の中で①身の回りのものに対する興味や関心を育む絵本であるといえる。散歩の意義の中では社会、主に地域社会との関わり、交通ルールを知る、自然との触れあい、気分転換、わずかながら散歩における気づきから思考力を培うが含まれる絵本が存在した。散歩は、身体活動量を楽しく増強できる活動であるが、そのことが描かれているような絵本は存在しなかった。

描かれている内容には、何か、または誰かとの出会い、探検、一緒に歩く（同行）を描いているものが多いことがわかった。

菊地（2018）は、保育における散歩は、行く先や行くルートが決まっていたとしても、道中にも行き先にも、たくさんの、おもしろいこと、未知の世界が広がっていなければならず、散歩に行き帰ってくると子どもたちは、おさんぽをしたことでそのたびに新しい自分になる。と述べている。このことが多くの絵本で描かれていた。子どもたちは、絵本の登場人物と同じような体験をし、共有できたことにさらなる喜びを感じるに違いない。

最後に限界であるが、今回は検索して選出した散歩関連絵本の中の半分以下を対象としなければならなかった。今後、さらなる分析調査が必要である。また、抽出された絵本を子どもに読んだことがない。そのため、保育現場にて乳幼児に読み語り、その反応をみることが望まれる。

文献

- 有馬明恵（2021）「内容分析の方法」株式会社ナカニシヤ出版 京都市
- 菊地知子（2018）「絵本だいすき！乳児保育の中の「おさんぽ」と絵本」幼児の教育 117-1、46-49
- 北野幸子、田中孝尚、中川茜（2012）幼児対象の科学絵本の実態と活用の可能性（科学の世界へ誘う絵本の可能性を探る、課題研究、次世代の科学力を育てる：社会とのグラウンディングを進展させるために）日本科学教育学会年会論文集 36(0)、95-96
- 齋藤めぐみ（2021）「誕生日」に関連する絵本におけるメッセージに着目した内容分析 日本の絵本と海外の翻訳絵本の比較による一考察（2021・単著）千葉敬愛短期大学研究紀要 43号、47-64
- 齋藤めぐみ（2022）絵本を活用した幼児を対象

- とした健康教育に関する一考察 むし菌・排便に関連する絵本の内容分析 千葉敬愛短期大学研究紀要 44号 33-42
- 齋藤めぐみ（2022）幼児を対象とした健康教育に関する絵本の一考察Ⅱ 片づけに関連する絵本の内容分析 令和3年度総合子ども学研究所年報 43-51
- 齋藤めぐみ（2022）「幼児の身体活動促進ツールの検討」～さんぽブック作成の試み～（2022）『令和3年度 日本スポーツ協会医・科学専門委員会研究報告書』Ⅳ多様な対象者をセグメント化した運動・スポーツの習慣形成アプローチ 第3報 6-21
- 杉山喜美恵（2022）幼稚園教育要領・保育所保育指針における「絵本」の位置づけ 東海学院大学短期大学部紀要 48 55-66
- 沼田加代（2013）乳幼児健康診査における「育児支援」の取り組み状況に関する実態 看護学研究紀要 1(1) 35-39
- 浜崎由紀、山田千都留、内山三枝子（2020）「乳幼児向け絵本に関する考察—こどものとも0.1.2.を中心に—」大阪商業大学共同参画研究所紀要 1 1-20
- 松岡享子（2017）「えほんのせかい こどものせかい」（文春文庫）文庫
- 三輪律江、尾木まり、稲垣景子（2017）「まち保育のススメ」萌文社
- 山室和也（2021）「言葉の響き」の視点からみた絵本の分析的研究 初等教育論集 22 79-95

付記 対象の絵本の内容

NO	タイトル	概要
1	あかちゃんのおさんぽ (1)	赤ちゃんが散歩に出かけると、蝶、ねこなどに会う
2	あかちゃんのおさんぽ (2)	赤ちゃんが散歩に出かけ、くもや亀などに会う
3	あきいろさんぽ	秋の散歩でどんぐり、みのむし、まっかなおちばに出会う
4	あきぞらさんぽ	女の子が秋の森に行き、いろいろな秋の物に触れあう。やさしく温かい気持ちになる
5	あそんでゆこう	紙人形が、街の中の色々な物や場所に行けるようなしかけ絵本
6	あめのさんぽ	けん (男の子) がお父さんと雨の日に散歩して、いろんな発見や経験をする
7	あめの日のおさんぽ	おばあちゃんとぼくは雨の日の散歩に出かける。雨だといつもの町や森が新鮮に見える
8	あめふりさんぽ	女の子が雨の日に散歩して、カタツムリ、アジサイ、オタマジャクシ、カエルに出会う
9	ありさんぽつぼつ	赤ちゃんたちがありさんの行列の先頭に立って、公園のさまざまな場所を歩く
10	アリのさんぽ	大きなアリが散歩の途中で様々な生き物に出会う。グロテスク
11	あるいてゆこう	紙人形が、牧場、草原、橋の上、岩場、木の上、洞窟、氷の上、階段、広場などに散歩
12	いこか いこか	男の子がおじいさんと散歩に行き、いろんなモノとの出合いを描く
13	いちにさん ぽ	カンガルーのルークと、その仲間のクマたちが電車ごっこをしながらお散歩しサーカスの一団に出会う
14	おさんぽ	よちよち歩きをはじめた子どもが散歩に出かけ、花や虫、動物に出会う
15	おさんぽ くろくま	くろくまくん。ちょう、とり、うさぎと出会う。りんごの木をみつけりんごをもって家に帰る
16	おさんぽおさんぽ	乳児むけ。長靴しかでない。男の子が雨の日に散歩。カエル、カタツムリに出会い、水たまりにはいる
17	おさんぽのおやくそくだもの	果物たちが散歩に行きながら交通ルールを知る
18	おさんぽわくわく	男の子が散歩に行き、花や動物に出会うが最後は穴に落ち、登っていくところで終わる
19	おとうさんとおさんぽ	パパが赤ちゃんとおさんぽに出かけ、自然に触れる。ほのぼのとしたストーリー。
20	おとうさんとさんぽ	男の子とお父さんが散歩。森ではクマに会うが、うまく通り抜ける
21	おなかのすくさんぽ	男の子が散歩に行き動物たちと転げまわって探検して最後は水浴び
22	お月さまのさんぽ	月が太陽に導かれて昼間の町や動物を次々と見ていく。タイトルは散歩とつくが子どもの散歩とは異なる
23	おぼろ月のおさんぽ「銀色」	猫の姿になった月が散歩。一緒にいて行った人たちは森で遊ぶ
24	かえるくんのおさんぽ	かえるくんがボールをもって散歩をするとき色々な出合いがあり、出会った人と最後は皆で遊ぶ
25	かごにのって	うららちゃんが動物たちとかごにのって野原を散歩に行く話
26	かめくんのさんぽ	亀がみんなの体の上を散歩する話。ぞうの散歩の亀版
27	かめさんのさんぽ	夜になるとかめさんはバケツから出て家の庭のあっちこち散歩する
28	きょうりゅうくんとさんぽ	一人の男の子が博物館で恐竜と出合い、博物館から飛び出して、街を探検。
29	こいのぼりくんのさんぽ	鯉のぼりが空を散歩し、出会う動物を乗せて一緒に散歩する話。
30	こぞうのスズ そらのさんぽ	ぞうが、野原で出会ったあげばちゃんと一緒に、街へ公園へと空の散歩にでかける
31	ころころオレンジのおさんぽ	オレンジの木がコロコロ転がり、街を散歩
32	コロちゃんのおさんぽ	犬のコロちゃんが散歩しながら探検し、動物たちと出会うしかけ絵本
33	さんさんさんぽ	女の子が夏の暑い日に散歩し、バッタ、ひまわりに出会う
34	さんぽ だいすき	ぶたちゃんが公園に散歩へ。服装や天気、場所や目的など徐々に外への関心を高めていく
35	さんぽ だいすき	こぶたのこぶちゃん おかあさんとさんぽ 色々な道に行き最後は公園へ
36	さんぽのしるし	うさぎは野原で、階段や橋や坂の標識 (しるし) にであう。言葉を超えた標識のもつおもしろさを味わえる
37	しりとりさんぽ	散歩しながら、様々な人や色々な物に出会い、遊んだり楽しんだりして家に帰る
38	しろしろのさんぽ	のんきなちびのへび、しろしろ。大好きなうさぎをしながらお散歩へ
39	しんごうびよびよびーい	車に気を付けながら、交通ルールを守り、園児が集団で街に散歩に行く
40	ぞうくんのあめふりさんぽ	ぞうくんがあめふりの中を他の動物たちと散歩する
41	ぞうくんのおおかせさんぽ	ぞうくんたちが大風の中を他の動物たちと散歩する
42	ぞうくんのさんぽ	象が散歩に出て、出会うカバ、ワニ、亀たちと一緒に歩く
43	だんだん だんだん	おじいちゃんや夕方散歩に出かけ、田んぼの虫たちと出会う
44	つきよのさんぽ	満月の夜、ぼくはお父さんと散歩に出かけると動物たちと出会う。版画絵がすてき
45	ニャーロットのおさんぽ	ねこのニャーロットが散歩にいき、いろんな家でいろんな食べ物をもらい食べながら散歩する
46	ノエルのおさんぽ	生まれた時から右半身が不自由で、強度の弱視のノエルがゆっくり散歩に行き、気づく
47	バオちゃんのだのしいおさんぽ	象のバオちゃんが秋の散歩に出かけて落ち葉やどんぐりと遊ぶ話
48	ばななせんせいとおさんぽ	ばななせんせいと、幼稚園児たちの朝の散歩。ばなな先生は何かあっても子どもたちを必ず助ける
49	はらっぱららら	黄色いワンピースの女の子がはらっぱに散歩に行き野原で出会うもので遊ぶ話
50	はるかぜさんぽ	女の子が春に散歩にいき、春の花や虫たちに出会う
51	はるかちゃんとかなたくんのしりとりさんぽ	きょうだい2人がしりとりさんぽに行く話
52	バルボンさんのおさんぽ	バルボンさん一家が雨の中を散歩に行き楽しむ話
53	パンちゃんのおさんぽ	パンダのパンちゃんはでんぐりがえしで散歩をしながら途中で出会う人たちにプレゼントを渡す
54	ぶうちゃんのおさんぽ	こぶたのぶうちゃんが散歩に行っているものと出会う話
55	へびくんのおさんぽ	へびくんが散歩に行き困難と動物に出会う
56	ホイホイとフムフム たいへんさんぽ	一度も散歩をしたことのないフムフムをホイホイが散歩に誘う話。最初の一步が大変
57	ポッポーきかんしゃ ぶるさんぽ	機関車ポッポーが夜の散歩に出かける
58	マウス一家のふしぎなさんぽ	お母さんと2人の子ねずみが、誕生パーティの準備のための散歩に出る
59	まほうのさんぽみち	絵本が大好きな女の子とパパと散歩、ワニや恐竜と出会う。絵がいい
60	みえないさんぽ ―この あしあと だれの?―	雪の降る冬の朝、足跡を追いかけていく
61	もしやもしやマクレリーおさんぽにゆく	犬のマクレリーが散歩に出ると次々に犬たちと出合い一緒に散歩する。
62	ももんちゃん のっしのっし	赤ちゃんが、次々に出会う動物を従えてのっしのっしと歩いて行く
63	もりのくうちゅうさんぽ	かえるたちの旅行社が、紙飛行機を見つけて、森の虫たちを空中散歩。いろんな昆虫の生態もわかる
64	ゆうたとさんぽする	犬と人間の散歩の話
65	ゆかいなさんぽ	子ブタが、歩いていると、アヒル、トラ、ウサギもついてきて一緒に歩く
66	ゆきみちさんぽ	女の子が雪の中を散歩に行き、雪がかぶった花、つららなどに出会う。お母さんがお迎えに来る。
67	よるの おさんぽ	ママに会いたいとき、けんちゃんパパと夜の散歩に出る。けんちゃんは涙を流さない。
68	よるの おさんぽ	子どもたちが夜起きて、夜の街を散歩する。最後は家に帰る
69	りすりんのおさんぽ どうぶつ	散歩に行き出会う乗り物
70	りすりんのおさんぽ りもの	散歩に行き出会う乗り物、乳児一人用
71	ロージーのおさんぽ	散歩を楽しむめんどりと、あとを追うきつね。めんどりは危ないことを次々とかわす
72	新装版 はなちゃんおさんぽ	はなちゃんがお父さんとおさんぽしているような動物に出会う